



●25センチ前後の食入、アジのサイズが多かった



●一度も潮りせず
に一日釣れ続いた



●掛かり所がよければ
スバッと抜き上げよう



●東京湾のビシアジはこの冬も安定して釣れている



●釣っても食入でもアジは飽きない魚はない



●今日はアジの平均40尾は釣れた



●食いが立つと一荷もある

▼アンドンビシはオモリ130号。仕掛はハリス2号の2〜3本バリ

東京湾奥小柴出船 東京湾のビシアジ順調 中型主体に数釣り満喫

撮影●鈴木良和



●はやぶさ丸は周年シフトアジに出船



●この日は平均40尾は釣れていた



●丸まる太ったサバも釣れた



●釣果の差は手返し
の差でもある



●ノーマルタックルでもアジの
力強い引きはクンケン伝わる



最近では少なくなりましたが、東京湾奥にもオモリ130号を使う、いわゆるノーマルスタイルのビシアジで出船する船はある。その一軒が小柴のはやぶさ丸。ノーマルビシアジは深場や速潮でも攻められる利点があり、当日も観音崎周辺沖の水深70メートル前後を狙ったが、速い潮にもかかわらずアタリは頻繁。25〜30センチ級を主体にトップ50尾以上の好釣果。状況は比較的安定しているので、今後も中型主体に数釣りを満喫できるだろう。
(詳細は48ページ参照)

●ポイントの水深は70メートル前後、タナは底上2〜3メートル



●東京湾奥小柴・はやぶさ丸
小山 恭弘船長